Sophos アンインストール
&
F-Secure インストール
マニュアル

Mac 版

Ver. 1.0

岐阜大学情報連携統括本部

目　次

1 はじめに.....1

1.1 アンインストール前の注意点.....1

2 Sophos アンインストール手順.....2

2.1 アンインストーラの場所を確認する.....2

2.2 アンインストーラの実行.....3

3 F-Secure Client Security for Mac　インストール手順.....4

3.1 インストーラの入手.....4

3.2 インストールスクリプトの実行.....4

3.3 F-Secure のインストール.....5

3.4 初回アップデート.....7

3.5 ブラウザ保護のインストール.....8

3.6 インストール後の操作.....11

3.7 アンインストール.....12

4 お問い合わせ.....13

1 はじめに

岐阜大学情報連携統括本部では、2017 年秋にウイルス対策ソフトを Sophos 社製品から F-secure 社製品に変更することになりました。

このことより、現在 Sophos をインストールしている機器から、Sophos をアンインストールし、新たに F-secure をインストールすることが必要になります。

Sophos を使い続けることは、重大なライセンス違反になると同時に、ウイルス定義ファイルが更新されなくなり、日々進化する脅威から PC を守れなくなりますので、速やかに作業を行ってください。

1.1 アンインストール前の注意点

Sophos のアンインストールを実施する前に、F-secure のインストールファイルを情報館 Web サイトよりダウンロードしていただき、Sophos をアンインストール後、ただちに F-secure がインストールできる環境を整え、PC にウイルス対策ソフトがインストールされていない時間を減らすようにしてください。

2 Sophos アンインストール手順

ウィルス対策ソフトウェアは、OS の深い部分で複数のプロセスがバックグラウンド動作していますので、Applications フォルダからファイルを「ゴミ箱」へ移動させただけでは正しく案インストールされません。

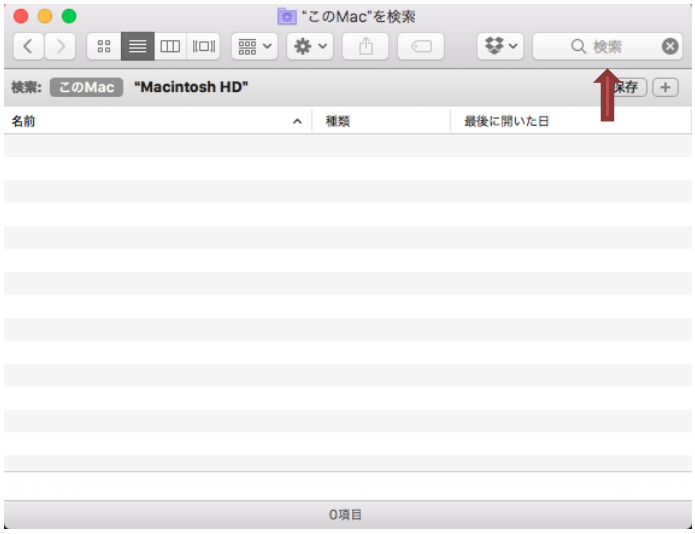
2.1 アンインストーラの場所を確認する

以下のいずれかの方法で「Remove Sophos Anti-Virus」アプリケーションを見つけてください。

1. キーボードの[command]+[space]を押して「Spotlight 検索」を開き、「remove sophos」と入力する

2. メニューバーの虫眼鏡アイコンを選択して「Spotlight 検索」を開き、「remove sophos」と入力する

3. Finder 右上の検索欄に「Spotlight 検索」を開き、「remove sophos」と入力し、「この Mac」全体からファイルを検索する



2.2 アンインストーラの実行

管理者権限をもったユーザで見つかったアンインストールアプリケーションを実行してください。Windows 版と異なり、アンインストールにおいて特に注意すべき点はありませんので、画面の指示に従ってください。

アンインストールが完了したら一度 Mac を再起動してください。

3 F-Secure Client Security for Mac インストール手順

注意：F-Secure Client Security for Mac（以下 F-Secure）のインストールは、必ず岐阜大学キャンパス情報ネットワークに接続されている状態で実行してください。学外のネットワークでインストールを行った場合、インストールが正常に完了しない可能性があります。

3.1 インストーラの入手

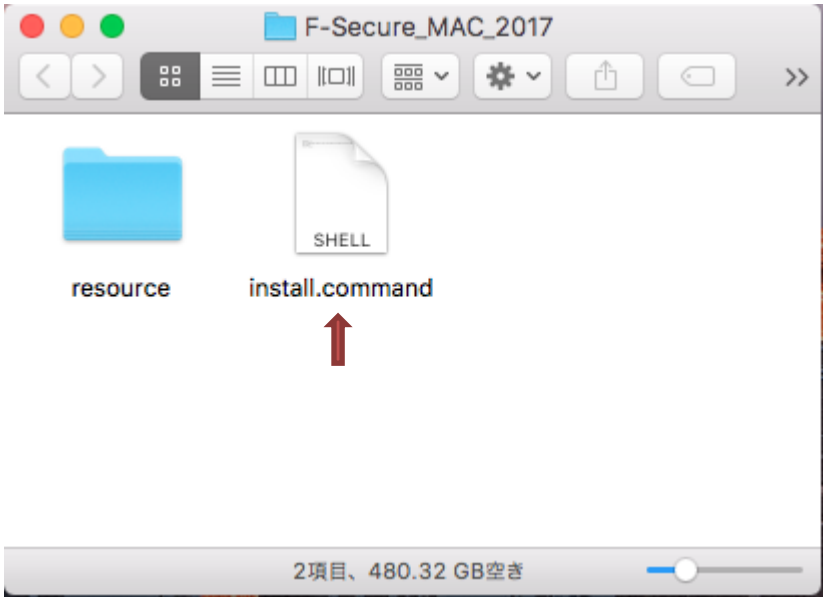
別途指定された URL より、以下のファイルをダウンロードし、ハードディスクの適当な場所へ展開してください。

F-Secure Client Security for Mac 配布パッケージ

・ F-Secure_Mac_2017.tar.zip

3.2 インストールスクリプトの実行

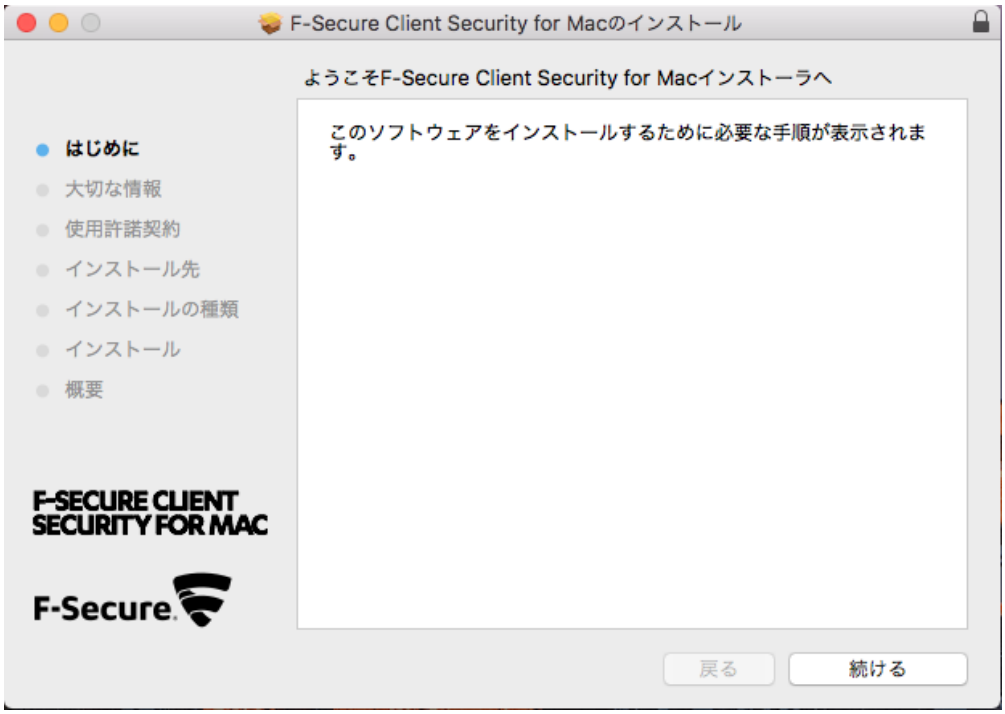
実行中のアプリケーションをすべて終了させ（※）、解凍されたフォルダ内の「install.command」(もしくは単に「install」)という名前のファイルをダブルクリックすると、インストーラが起動します。



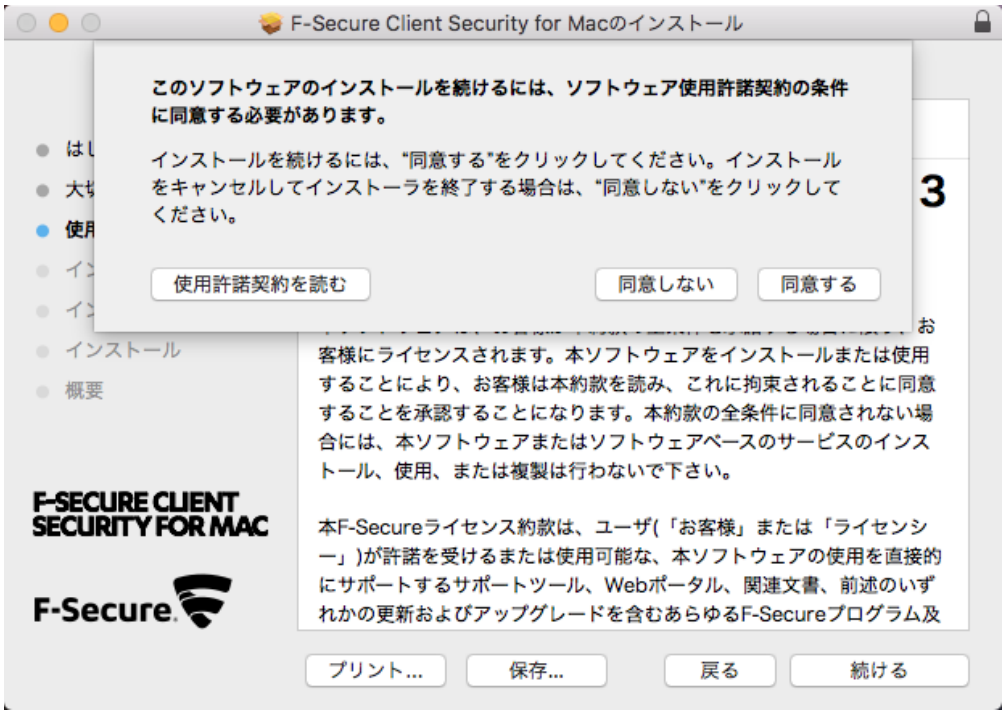
※:特にターミナル上で計算などを実行中の場合は、計算が強制的に中断される可能性がありますのでご注意ください。

3.3 F-Secure のインストール

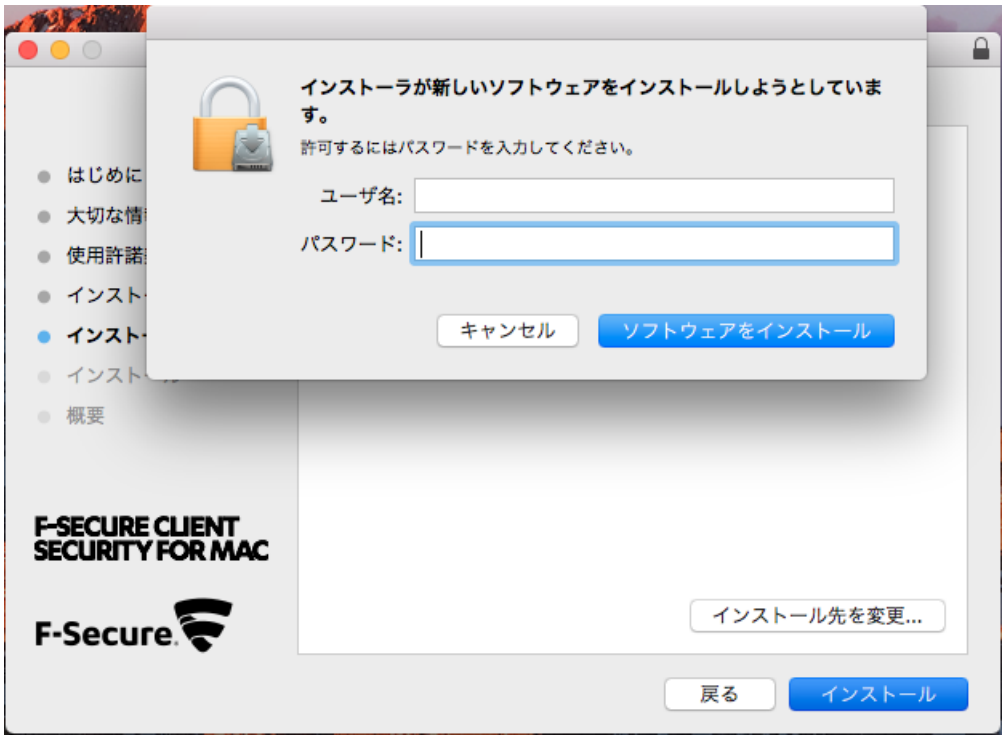
インストーラの指示に従って F-Secure 本体をインストールしてください。



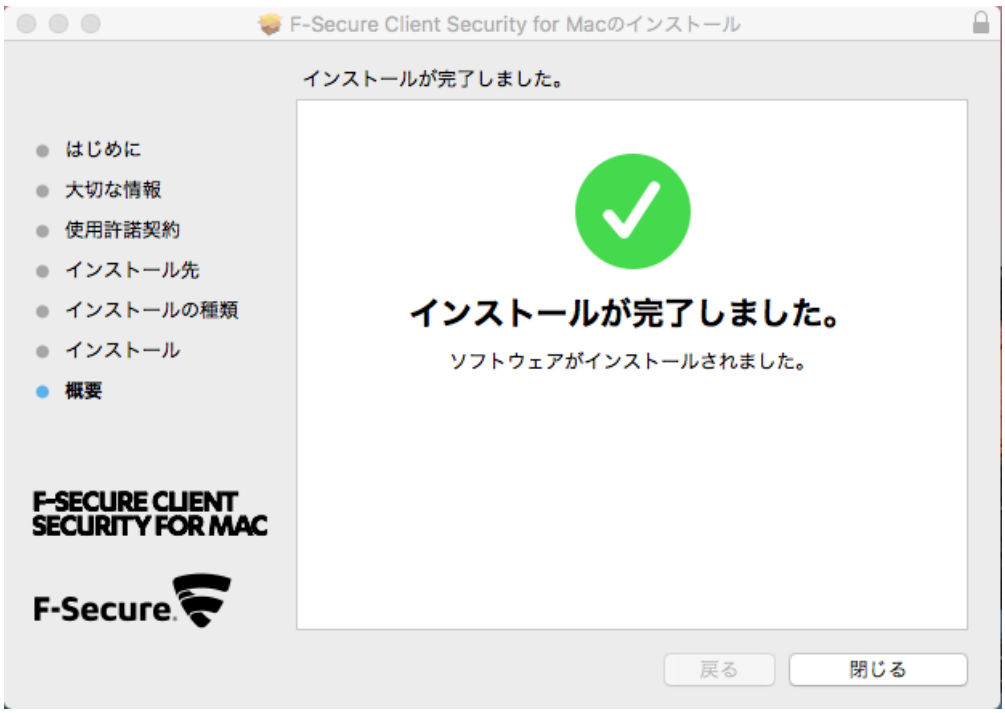
途中、使用許諾への同意が求められますので「同意するを」選択、



また、システムへ変更を加える際には管理者としての認証を求められますので、管理者権限をもつユーザのユーザ ID とパスワードを入力してください。



以下の画面が表示されれば F-Secure のインストールは完了です。



3.4 初回アップデート

インストールが完了すると、自動的に F-Secure のウィンドウが開きます。

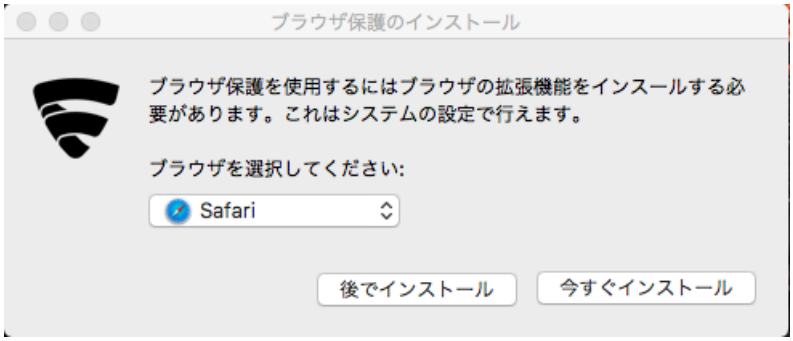
この時点では、ウィルス定義が最新のものになっていませんので、赤い×マークがついていますが、しばらく置いておくと自動的に初回アップデートが実行され、すべての項目に緑の✔がついた状態になるはずです。

この状態になれば F-Secure ウィンドウは閉じてしまって結構です。

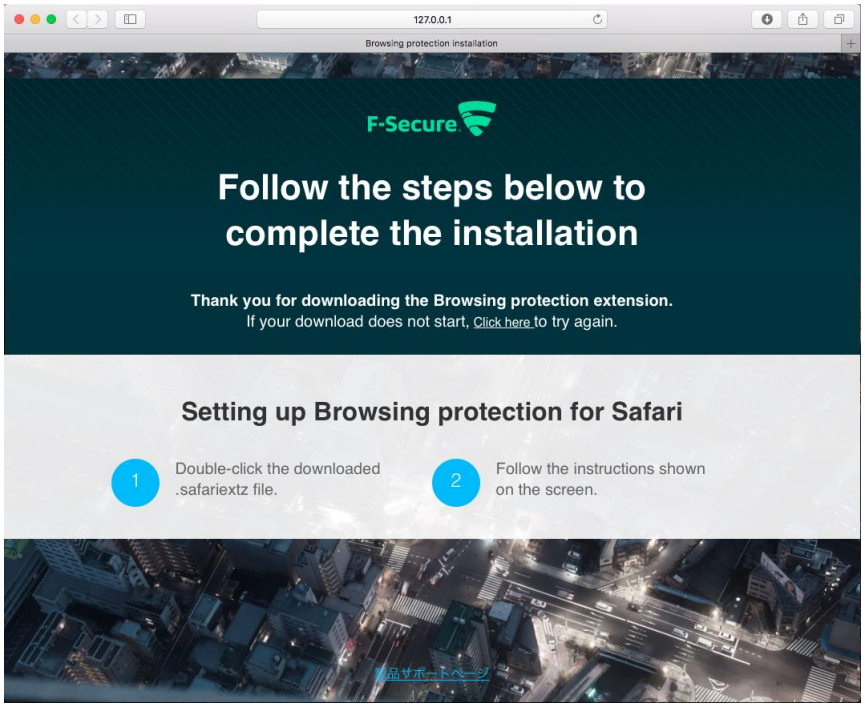
3.5 ブラウザ保護のインストール

Web ブラウザによる Web 閲覧をリアルタイム保護するためには、使用するブラウザにプラグイン（拡張機能）をインストールして保護する必要があります。ここでは、Safari へのインストール手順を紹介しますので、特段の理由がない限り、Web 閲覧はブラウザ保護が有効になった状態で行ってください。（Google Chrome や Mozilla Firefox を利用している場合には、それぞれの画面の指示に従ってください）

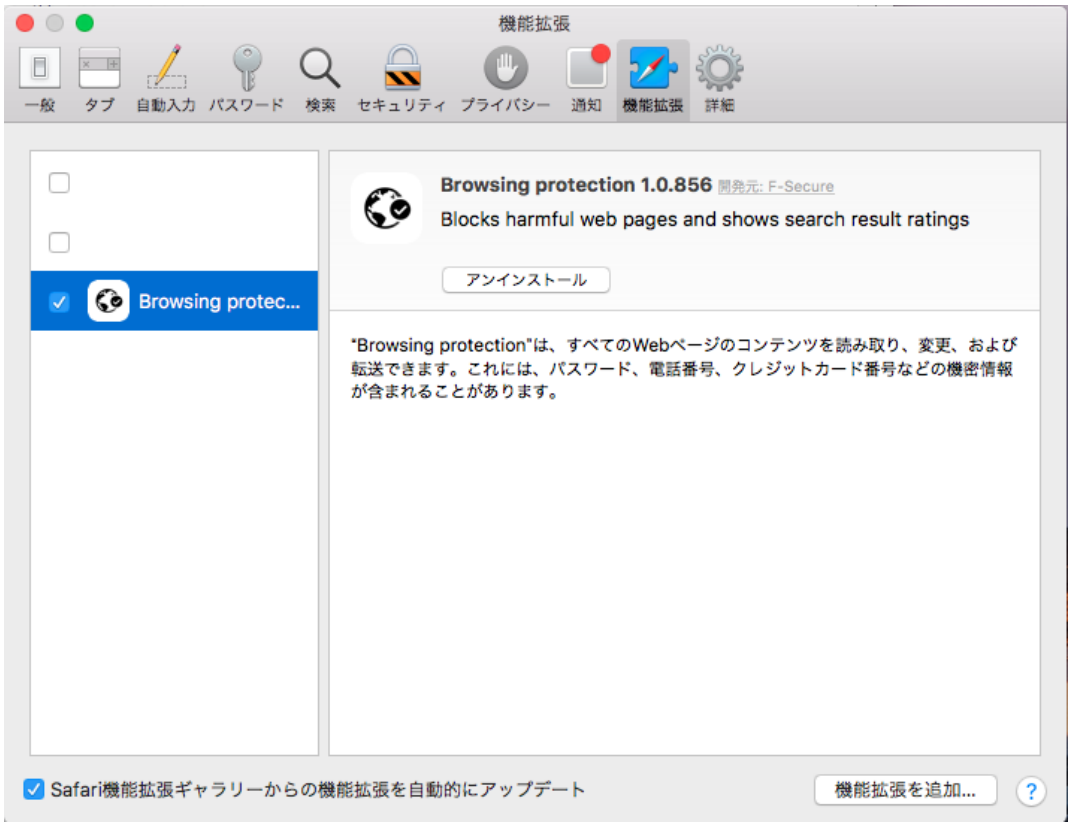
F-Secure 本体のインストール完了時に「ブラウザ保護のインストール」ウィンドウが開いていますので、ブラウザ選択プルダウンメニューから Safari を選択（デフォルトで Safari が選択されています）し、「今すぐインストール」を選択してください。



Safari が自動的に起動し、下図のようなページが表示され、自動的にプラグインファイルのダウンロードが開始されます。

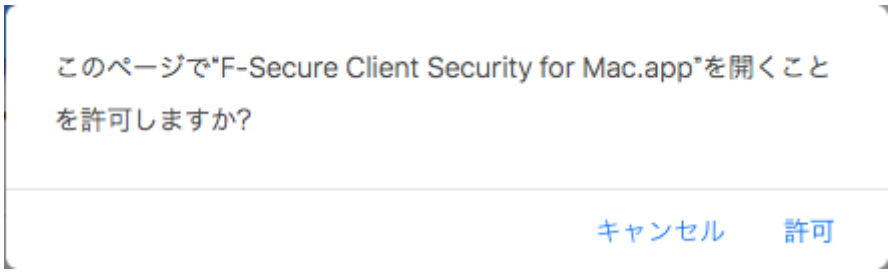


ダウンロードされたファイルをダブルクリックして実行すると、「Browser Protection」をインストールしてよいかの確認画面が表示されますので、「信頼」をクリックしてください。

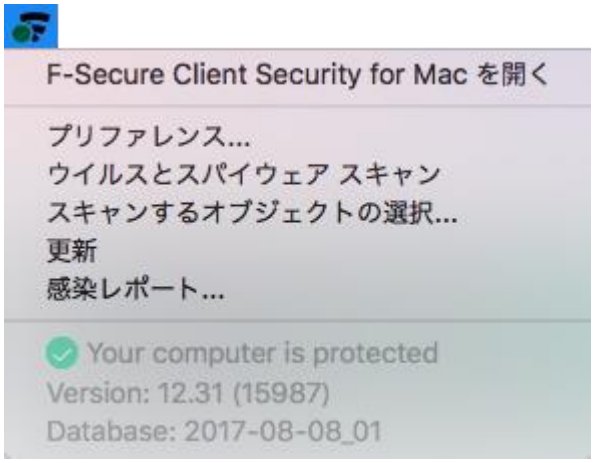


機能拡張画面で Browser Protection のチェックボックスにチェックが入った状態になっていれば、ブラウザ保護のインストールは完了ですので、Safari を再起動してください。

以降は、Safari を起動した際にリアルタイム保護を許可するかどうかの確認画面が表示されますので、「許可」を選択すれば、Safari を終了するまでの間、Web ブラウザのリアルタイム保護が有効な状態が維持されます。



F-Secure 本体のインストール時に「後でインストール」を選択した場合、または Safari 以外のブラウザのプラグインを改めてインストールするには、まず F-Secure Client Security のメニューバーアイコン をクリックしてメニューを開いて「プリファレンス」を選択し、F-Secure の設定画面を開きます。



設定画面から「ブラウザ保護」タブを開き、「ブラウザプラグインをインストールする」をクリックすると、F-Secure 本体のインストール完了時に表示された「ブラウザ保護のインストール」ウィンドウを再表示することができます。

3.6 インストール後の操作

F-Secure Client Security for Mac のインストールが完了し、すべての保護機能が有効に機能している場合、メニューバーアイコン に緑のマークが表示されます。このマークがオレンジや赤だった場合は、何らかの機能が正しく動作していません。

メニューバーアイコンをクリックして表示されるメニュー（上記参照）から「F-Secure Client

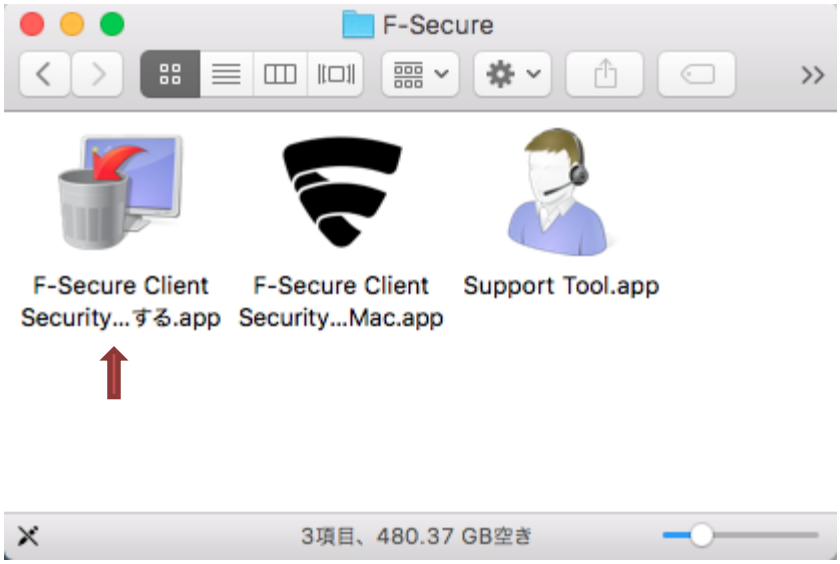
Security for Mac」を選択し、F-Secure ウィンドウが開いてステータスを確認してください。

また、この画面で「スキャン」ボタンをクリックすると、HDD 内のウィルスチェックを実行できます。

3.7 アンインストール

F-Secure をインストールすると、アプリケーションフォルダ内に「F-Secure」フォルダが作成されます。「F-Secure Client Security for Mac をアンインストールする」という名前のファイルを実行すると、F-Secure をアンインストールできます。

特に選択等はありませんので、画面の指示に従ってください。



4 お問い合わせ

Sophos のアンインストールについてのご質問は、電子メール若しくはお電話で下記窓口までお問い合わせください。

情報連携統括本部

✉ imc-help@gifu-u.ac.jp

☎ 内線 2041